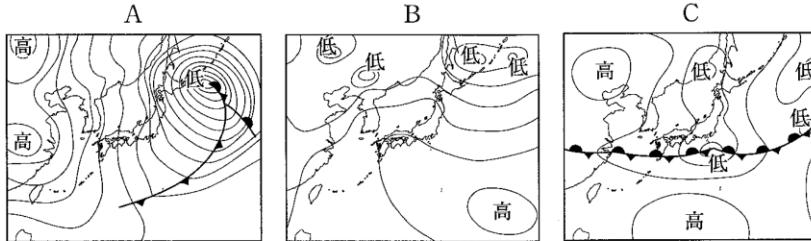


4

図1のA～Cは、日本である季節に見られる特徴的な天気図である。また、あとの文は、図1のA～Cの時期の気象の特徴について説明したものである。これについて、あとの問い合わせに答えなさい。

図1



- A 冷たく乾燥した気団Xが発達し、この季節に特徴的な  a の気圧配置になることで、日本へ季節風がふく。
- B あたたかく湿った気団Yの勢力が強くなり、日本付近の広範囲をおおう。
- C 気団Yと冷たく湿った気団Zがぶつかり合い、  b 前線が発生する。この前線付近では、長期間雨が降り続くことが多い。

(1) 図1のA～Cは、それぞれどの季節のものか。その組み合わせとして、最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

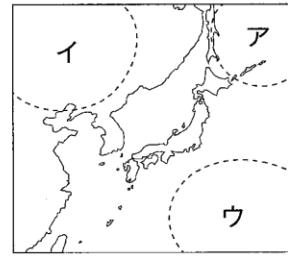
- |       |      |      |       |      |     |
|-------|------|------|-------|------|-----|
| ア A…春 | B…梅雨 | C…冬  | イ A…夏 | B…秋  | C…春 |
| ウ A…冬 | B…夏  | C…梅雨 | エ A…春 | B…夏  | C…冬 |
| オ A…夏 | B…秋  | C…梅雨 | カ A…冬 | B…梅雨 | C…夏 |

(2) 図2は、日本周辺の3つの気団を模式的に表したものである。図2

文中の気団X～Zにあてはまるものを、図2のア～ウからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

(3) 文中の  a にあてはまる語句を、漢字4字で答えなさい。

(4) 図1のBの季節の特徴について説明したものとして、最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。



- |  |
|--|
| ア 海洋上の方が大陸上よりも気温が高くなり、気圧が低くなるため、北西の季節風がふく。 |
| イ 海洋上の方が大陸上よりも気温が高くなり、気圧が低くなるため、南東の季節風がふく。 |
| ウ 大陸上の方が海洋上よりも気温が高くなり、気圧が低くなるため、北西の季節風がふく。 |
| エ 大陸上の方が海洋上よりも気温が高くなり、気圧が低くなるため、南東の季節風がふく。 |

(5) 文中の下線部bと同じ前線は、9月ごろの天気図にもよく見られるものである。このような前線を一般に何前線というか。名称を答えなさい。

(2) 気団Xは、冷たく乾燥したシベリア気団(イ)、気団Yは、あたたかく湿った小笠原気団(ウ)、気団Zは、冷たく湿ったオホーツク海気団(ア)である。

(3) 冬はシベリア気団が発達し、西の気圧が高く東の気圧が低い、西高東低の気圧配置になる。このため、気圧の高い大陸側から気圧の低い海洋側へ、北西の季節風がふく。

(4) 夏は小笠原気団が発達し、南の気圧が高く北の気圧が低い、南高北低の気圧配置になる。このため、気圧の高い海洋側から気圧の低い大陸側へ、南東の季節風がふく。

(5) 6月ごろにできる停滞前線を梅雨前線、9月ごろにできる停滞前線を秋雨前線という。

(1)	<input type="text"/> ウ	16					
(2)	X	イ	Y	ウ	Z	ア	17
(3)	西	高	東	低			漢字4字指定
(4)	工						19
(5)	停	滞					前線